

生涯教育研修会報告書
学発番号 第11-077号

平成24年3月6日報告
報告者:野口 幸彦
所属:三菱京都病院
連絡先:075-381-2111
主題:心電図 ～不整脈の考え方～ (上級編)
講師:加藤 雅史先生
所属:三菱京都病院 心臓内科
日時:平成24年2月8日(水) 18:30～20:00
場所:京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
分類:生体検査 20点
全体参加人数:41人
京臨技会員参加人数:9人
以下、講演内容など

心電図講演会、上級編、～不整脈の考え方～について、加藤雅史先生を招き講演会を行った。

- ① 早期(心房性、心室性)期外収縮
- ② 徐脈性不整脈(洞性徐脈、洞不全症候群、房室ブロック)
- ③ 上室性頻脈(心房細動、心房粗動、心房頻拍、洞性頻拍、PSVT)
- ④ 心室性頻脈(心室頻拍、心室細動)
- ⑤ 最近のafの治療法、抗凝固剤

以上についての説明があった。

③、④についてPSVTや幅の広いQRS波の頻拍において12誘導心電図だけでは診断するのが難しい事が理解できた。

上室性頻脈や心室頻脈の治療については患者の状態が安定していれば、慌てず治療を進めていくという事であった。

⑤についてはアブレーション治療の成功率が上がっている事や、抗凝固剤においてもワーファリンに代わる薬が使われているという事であった

(報告者 野口 幸彦)